

会報 うでまくり



F J P
福島県女性経営者プラザ

支えあい、助け合いの社会へ いよいよ女性経営者の時代です



福島県女性経営者プラザ

会長 三田 公美子

あの、3・11東日本大震災——福島県ではさらに原発事故から、三年目に入りました。安倍首相の再度の登板とアベノミクスとかで、長期間どん底を続けていた日本経済も少しは動き出して、何やら東京ではミニバブルとか。私たち福島島の状況は相変わらずはつきりしません、日本がよくなることはうれしいことです。

しかしこのまま上昇を続けるかといえどそんなことはありえない、と経済学者の先生方がおっしゃっています。

残念ながら私もそう思います。日本だけでなく世界中が成熟社会に入っていますので、今までの価値観、経済発展とか大量消費といった考え方をがらりと変えない限り生きる残ることは無理なんですね。

ほんとうに必要なもの、役に立つものを、必要な人に、必要な時だけ。国際的節約社会が始まっているのではないのでしょうか。もちろん、ブリックスと呼ばれる国々には、成長の余白がまだまだあるでしょうが少子高齢を一旦早く迎えた日本にはそんな伸びしろはありません。

京セラの稲盛会長が仰っているよう

- ◆ F J P の目的 ◆
- ① 女性経営者としての資質向上
- ② 次の女性たちのための風土づくり
- ③ 共同事業の開発
- ④ 地域・社会への貢献



に「足るを知る」生き方を取りもどしていかなければ、日本人全てが不幸になるのだと思います。バビちゃんという愛称を持つバブル大好きの私にとっては辛いことはありませんが、変わるしかないのです。(変わりますとも！)

言葉をかえると、「支え合い、助け合い」の社会になるわけで、女性にとっては得意の時代です。女性経営者本領発揮のとき、さあ、出番が参りました。

● うでまくりとは
古い川柳に「朝雨女の腕まくり」というのがある。天気の良い朝にパラパラと急に来る雨は、女の腕まくりと同じで意気込みだけ、大したことはない...という意味。F J P、女の腕まくりの真価はこれから！という意味も

活動報告

平成24年度定例会

- 9・18 16 交流活動 滋賀県 県知事表敬訪問、交流会
- 10・16 16 定例会 経営セミナー 本宮市 アサヒビール園 福島工場長 加賀美 昇氏 「アサヒで福島を元気に！」
- 11・13 定例会・大型講演会 郡山市 ビッグアイ 富士フイルムHD 榊前代表 取締役専務 高橋俊雄氏 「富士フイルムの事業転換から見えてきたこと」 ※パネルディスカッション 「高橋先生に聞く」 パネラー 会田和子 岡部恵久子、鈴木由利佳 コーディネーター 三田公美子
- 12・11 定例会 クリスマス会 本宮市・リバーサイド 石橋幸子さんによるライブ
- H 25 1・8 9 新年会 陽日の郷あづま館 マリン演奏 柳沼輝さん 伴奏 SOYOKAさん
- 2・19 定例会 茶寮おりおり 会員に聞く (瀬戸孝子、中原未都子) まとめ例会ウエディングエルティ
- 3・12 新年度の計画

私からあなたへ

ありがとう

山田直美



「ありがとう」の言葉をとても大切にしています。

昔は、なんか照れくさくて敬遠する言葉でした。でも常に『ありがとう』の気持ちを持って生活してみようと思うようになってからは照れくさは無くなりました。

あるテレビの番組で、これもどなたか忘れましたが夫婦円満の秘訣は？と聞かれた方が「夫婦でもお茶を淹れられたら『ありがとう』何かしてくれたら些細な事でも『ありがとう』を言うようにしています」と話されている男性の方をみて『お茶を淹れただけでもありがとうなんて言われたら何杯でも淹れちゃうな』なんて思ったのがきっかけで気にして言うようにしてみました。そしたら初めは家族も言われた事もない『ありがとう』の言葉にキョトンとしていました。やはり悪い気

会員によるリレーエッセーです。日頃知られていない一面が見られるかもしれません。

はしないようで、またお手伝いしてくれたりしています。『ありがとう』って言う方も言われる方も幸せな気持ちにしてくれる魔法の言葉なんですね。

健康について考える

中原未都子



あの三月十日から早二年が経ちました。原発の為に震災復興が進まずこの行方を監視する義務があると肝に命じながら過ごしています。さて、そろそろ体の錆が顔を出してきました。間違いなく下り坂を降りていると感じます。幾つになっても健康で元気でいたいと願うばかりですが、そんな中、一冊の本を頂き仰天！自分に照らし合わせて読んでみると、思考が一八〇度転換、今までの健康に対する常識が覆されました。本のタイトルは「医者に殺されない47の心得」。FJPP会員の皆様はお忙しい方も多いと思われませんが、時にはゆっくり自分の体と

向き合う時間を取られてみてはいかがでしょうか。

今を大切に

石橋昭子



東日本大震災から早くも二年が過ぎました。仕事をリタイヤする

年齢になり、今後の人生設計を...と考えていた私には、全ての価値観がひっくり返されたような出来事でした。

仕事への影響もさることながら、福島この地は、未来は、子ども達は...と思うといたたまれない気持ちです。

それでも、今自分に出来る事と避難されてきた方へ住居の提供や炊き出しボランティアなどをしました。

それが一段落し、喪失感で立ち直れなかつた時に、FJPPへの入会を勧められ、私にもまだ出来る事があるかもしれない、活動によって何かの役に立てるかもしれないと思えるようになりました。

微力ではありますが、今後のFJPPの活動を通じて、何らかの貢献が出来ればと思っております。

トピックス

菊池美保子会員・NYで講演

住民の不安、食品検査で解消

「環境分析研究所」社長の菊池美保子会員は、三月六日NYで講演し、科学的数値に基づいて行動する大切さを語った。NY日系人会の「女性実業家の会」が主催し約四十人が参加した。

井戸水から検出の放射性物質を第一原発事故で飛散したものと誤解していた事例を紹介、それを詳細に分析した結果誤解が解けたと話し、不安解消のお手伝いができ「福島の人でしょ、大変でしょう」「あなたを救うにはどこにお金を寄付したらいいの？」と聞かれたという。世界中の人が福島のために何かしたいが何をしたらいいのか判らない、「今、福島は大丈夫です」と講演では話したが、NYも六十キロ先の原発から電力供給を受けている。可哀想だけでは済まされない現実をもったNYの現状であると感じたとか——。(R・Y)



滋賀県訪問の旅

2012.9.14 ~ 9.16



東日本大震災へのご支援に対し感謝の意を伝える為、三田会長と会員十七名で嘉田知事への表敬訪問をした。知事は支援活動により逆に学ばせて頂いたと礼を述べられ、滋賀県は人口百三十万人であるが、避難者への支援、帰福したい方への支援を引き続き行うと述べられた。また、福島市蓬萊町出身の荒川副知事も面会、福島の女性パワーはすごい、嘉田知事は本当に一生懸命である、これから福島が昔のようになるまでどれだけ時間がかかるかわからない、今福島は風化していると思う、風評被害は終わっていない...と語られた。

続いて、福島から避難されている被災者の会代表の遠藤正一さんとの懇

親会を持ち、被災者の現況などを伺った。川崎葉子さんは前FJP会長でもあり、原発3キロに住居があったため避難され、現在は福井県に居住。自主避難者と賠償の対象となる避難者の摩擦、誰がどこで何をしているのか横の繋がりがなく判らない、のれん、信用、生活の保障も失った避難者の思いを掬い上げまともていく人がいないことから、子どもの未来の為に独自の活動しよう、横の連携をとり避難者を救いたいとの願いで活動している。

遠藤さんは、滋賀県に避難。今、福島から二百五十四人の避難者がいるが、ここで第二の人生を送る決意の方が多い。他地域では支援団体の連携が取れず、滋賀県で自ら立ち上げた被災者の会は行政とのパイプが強いと語った。



(R・Y)

《経営セミナー》

アサヒで福島を元気に

日時 十月十六日(火)

場所 本宮市・アサヒビール園

講師 アサヒビール福島工場長 加賀美 昇氏

本宮市のアサヒビール福島工場では、震災によって約七ヶ月間の操業停止となったが、工場長以下社員が一丸となって立て直しに力を注いだ。ビール生産を通して社会的責任や地域産業のシンボルとして貢献すること、その使命は活力・勇気・感動を届ける事！どんな困難や時間経過があっても人と人との絆があれば乗り越えられる！工場長の熱いメッセージとDVDによ

◆レディース中央会◆
「全国フォーラム in 福島」

平成24年11月14・15日

芦の牧温泉 大川荘にて開催
全国から250人が参加した。



会員募集

FJPでは、女性ならではの感性を研ぎすまし、時代を見すえた情報の受・発信に取り組んでいます。皆様の入会を心よりお待ちしております。入会についての問合せは

TEL (024) 524-3232

FAX (024) 524-3434

(有)おりおり 横山りつ子

Mail:fjpsomu@hotmail.com



アサヒが昇る、福島が昇る、加賀美昇

る「工場再開の復興への軌跡」と題して講演をいただいた。放射性物質の万全を期するゲルマニウム半導体検出器導入の新工場見学、ビール園での乾杯！ ジンギスカン、焼肉に舌鼓。楽しい経営セミナーでした。(Y・T)

FJPP公開講演会2012

十一月十三日(火) 於郡山ビッグアイ

第一部 講演

前富士フィルムH.D
代表取締役専務取締役 高橋俊雄氏



『富士フィルムの事業転換から
見えてきたこと』

富士フィルムは二〇〇七年には、国内業界において、史上三年間のトップを占めていた。ところが、二〇〇八年秋未曾有の経済危機に直面、リーマンショックの間には、市場規模八割縮小に至った。富士フィルムとしても、二〇〇四年には「新たな出発ビジョン75策定」を発表、デジタル化の進展による事業基盤崩壊に、手は打ってあった。

- ① 新たな成長戦略の構築
- ② 経営全般に亘る徹底的な構造改革
- ③ 連結経営の強化
- ④ 社員のパワーアップ

限られた条件・時間の中で改革は遂

げられる——。講演者の一言一言の中に込められた熱意と実行の力が浮かび上り大きな感銘を受けた。

第二部 パネルディスカッション

高橋俊雄氏に聞く——

『強い会社の育て方』

パネラー ▼会田和子、岡部恵久子

鈴木由利佳

コーディネーター

▼FJPP会長 三田公美子

各パネラーから体験に基づくテーマに対する発表があり、その後高橋氏の講評を頂き、有意義な時間であった。

(E・I)



新年会

2013年1月8日



陽日の郷 あづま館

柳沼輝さんのマリンバ演奏は、心が優しくなりました。

「楽しいから弾きたい」——障害を乗り越えての今がありました。これからも、たくさんの方の演奏の機会が訪れますように。伴奏をして下さったSOYO OKAさんも有難うございました。懇親会では昨年に引き続き、三田会



長とのジャンケン大会や事業委員会の手品など、楽しい時間を過ごしました。温泉、エステ、マッサージと、一年分の元気をつくって、今年も頑張るぞー！

(E・I)



原稿募集

次回、「うでまくり10号」の
のりエッセーは、

菊池美保子さん
(NY講演を振り返って)

↓
小林志津子さん
(新規事業への思い)

〆切:9月10日まで

●編集後記

想定外、今迄にない、爆弾、と予測できない事象・気象の多いこの頃。しかし、FJPPは今年も楽しく活動することを確信しています！満開の桜のように……

(E・I)